

# 財政事情の公表

## わがまちの家計簿(令和3年度決算から)

皆様のご家庭が、毎月の給料で食費や光熱水費、学費、ローン返済などの支払いをしながら生活しているように、市でも、皆さんから納付いただいた税金や国・府からの補助金、市債という借入金などの収入で、各種サービスの提供に必要な費用の支払いをしています。

今回は、令和3年度決算と令和4年度上半期(4月から9月まで)予算執行状況などについてお知らせします。

### 3年度決算状況

令和3年度の一般会計及び特別会計(企業会計除く。)の決算状況は第1表のとおりです。

「柏原市行財政健全化戦略(第2期)」に基づき、財政の健全化に取り組んだ結果、実質収支の黒字を維持することができました。

<第1表> 令和3年度各会計決算状況(企業会計除く。)

(単位:千円)

会計名	予算額 (A)	収入 (B)	支出 (C)	差引(形式収支) (B)-(C)=(D)	翌年度に繰越 すべき財源(E)	実質収支 (D)-(E)	
一般会計	33,093,298	30,762,406	29,574,206	1,188,200	19,169	1,169,031	
特別会計	国民健康保険 (事業勘定)	8,226,177	8,055,952	7,910,606	145,346	0	145,346
	国民健康保険 (施設勘定 堅上診療所)	11,859	8,116	8,116	0	0	0
	介護保険	6,687,021	6,580,903	6,516,623	64,280	0	64,280
	後期高齢者医療	1,173,827	1,131,358	1,094,947	36,411	0	36,411

まず一般会計の歳入を詳しく見てみると、右の第2表のとおりです。

#### 【説明】

歳入総額は、地方交付税などが増となったものの、国庫支出金及び市債の大幅減などにより、前年度に比べて15.8%の減となりました。

歳入の根幹をなす市税収入は、個人市民税が新型コロナウイルス感染症の影響による景気後退に伴い一人当たりの所得額が減少したことなどにより、前年度に比べ1.5%の減となりました。今後も人口減少や生産人口の減などの影響から厳しい状態が続くと見込まれます。

#### 【主な歳入の増減と理由】

○国庫支出金:新型コロナウイルス感染症対策に係る特別定額給付金の皆減などにより、54億3,338万円の減

○市債:認定こども園整備や新庁舎施設整備に係る市債の大幅減などに伴い、17億3,557万円の減

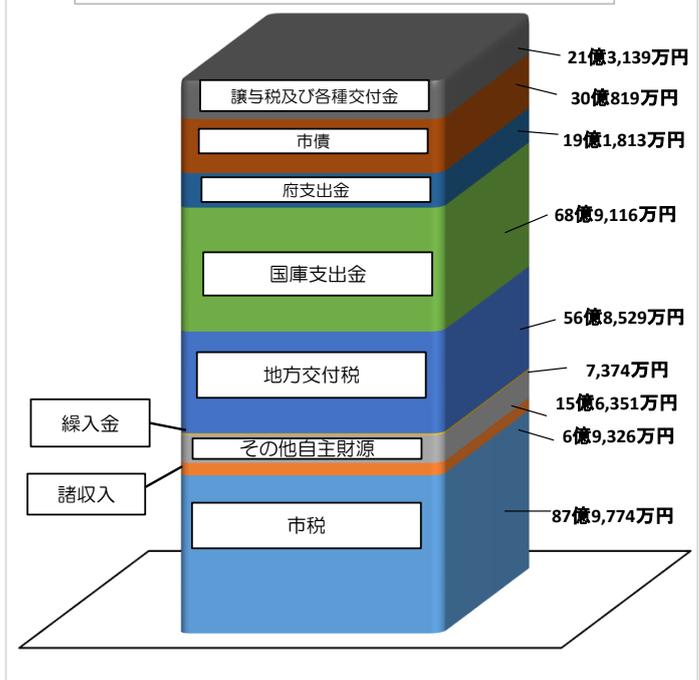
○繰入金:財政調整基金及びふるさと基金の繰入額の減により、3億1,964万円の減

○地方交付税:8億9,247万円(18.6%)の増

令和4年3月31日現在人口 67,395人

<第2表> 一般会計歳入

歳入総額 307億6,241万円(市民1人当たり45万6,449円)



つぎに一般会計の歳出を見ると、右の第3表のとおりです。

**【説明】**

歳出総額は、義務的経費が増となったものの、投資的経費において新庁舎施設整備及び認定こども園整備などに要した事業費が減となったことなどにより、前年度に比べて16.9%の減となりました。

今後は、老朽化した公共施設の改修や統廃合により投資的経費は増加するものと見込まれます。

**【主な歳出の増減と理由】**

○扶助費：障害者支援に関する事業費の増などにより15億9,325万円の増

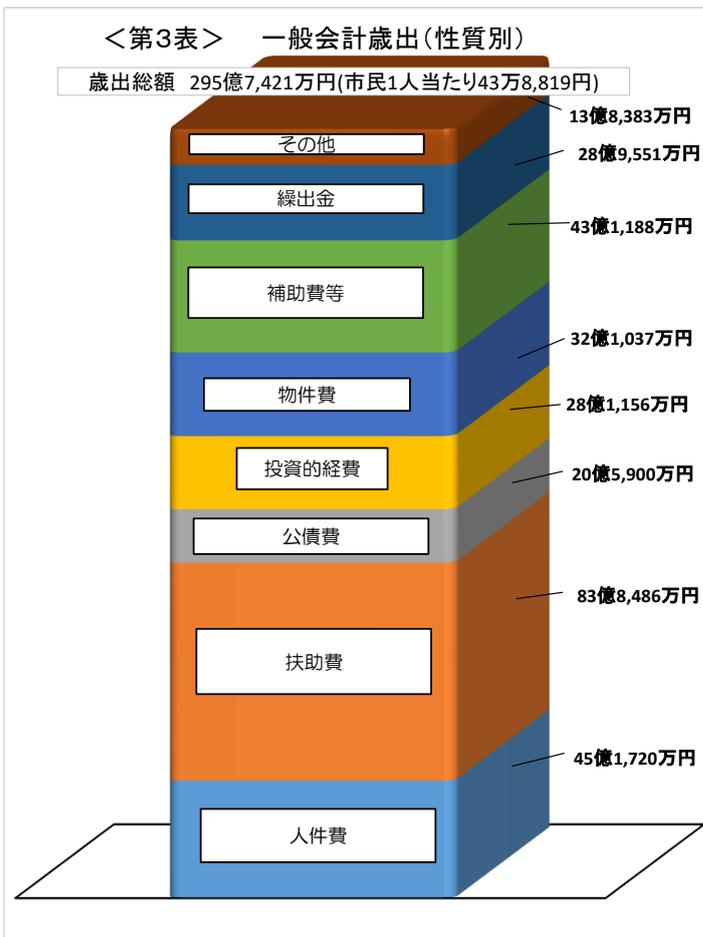
○投資的経費：新庁舎施設整備及び認定こども園整備費の減により、18億9,488万円の減

○公債費：庁舎建設に伴う起債の元金償還開始などにより1億6,082万円の増

○補助費等：特別定額給付金給付事業の皆減などにより、67億9,773万円の減

**市の財産**

市の財産は、貯金に当たる積立金(基金)と市役所の本庁舎、学校、公園などの公有財産、負の財産である市債の大きく3つに分かれます。これらの財産の令和2年度末の状況は下記の第4・5・6表のようになりました。



**<第4表> 積立金(基金)現在高一覧**

(単位:千円)

基金名	3年度末 積立金現在高	市民1人当たりの 積立金現在高(円)
<b>主な基金</b>	<b>3,061,844</b>	<b>45,431</b>
うち 財政調整基金	2,310,649	34,285
減債基金	524,256	7,779
公園等整備基金	202,642	3,007
<b>その他目的基金</b>	<b>1,146,570</b>	<b>17,013</b>
うち 老人福祉基金	319,530	4,741
ふるさと基金	400,257	5,939

**※ 基金とは・・・**

ある特定の目的のために積み立てられているもので、市の貯金です。柏原市もいくつかの基金があり、目的に応じて運用されています。ただ、財政調整基金だけは使用用途を制限されない積立金です。

**<第5表> 公有財産一覧**

(単位:m<sup>2</sup>)

区分	土地	建物
行政財産	公用財産	10,308
	公共用財産	559,784
普通財産	79,295	7,775
合計	649,387	173,674

※公用財産：市が直接業務に使用するためのもの(本庁舎、出張所など)

※公共用財産：住民が一般的に共同利用するためのもの(学校、公園など)

※普通財産：上記2つ以外の全ての財産で、直接行政目的がないもの

<第6表> 市債現在高

(単位:千円)

会計名	3年度末 市債現在高	市民1人当たりの 市債現在高(円)
普通会計	23,389,436	347,050

※ 市債とは・・・

本来、学校や道路など長期間にわたって利用することができる施設を多額の費用をかけてつくる時に国や金融機関などから借りる長期的な借入金です。利用者の負担の公平性を保つため、長期で返済していきます。(一般家庭で言えば住宅ローンのようなものです。)

しかし、最近では、臨時財政対策債などの財源不足を補てんするための特例的な市債の残高が増加しています。

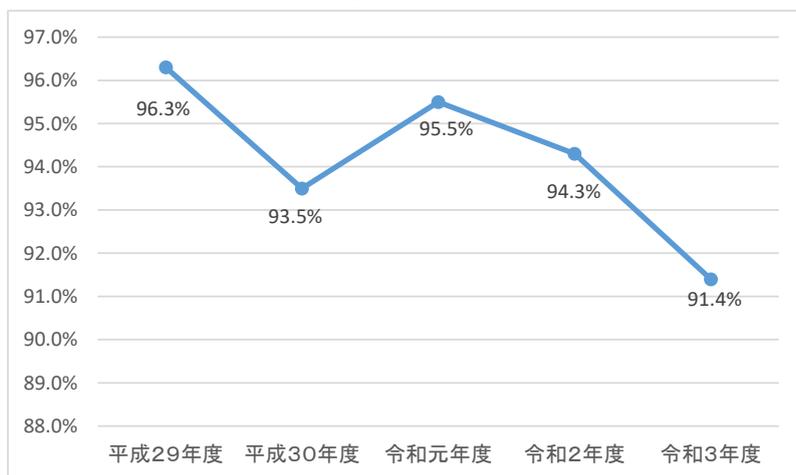
3年度決算からわかること

～財政構造の硬直化と厳しい財政運営～

下の第7表のグラフは、財政構造の弾力性を示す経常収支比率の推移です。令和3年度については、前年度より2.9ポイント改善し、91.4%となりました。

少子高齢化や人口減少などにより歳入の増加が見込めない中、社会保障関係費の増加、老朽化した公共施設の改修や統廃合による施設整備事業に伴う公債費の発行額の増加を考えると、今後も厳しい財政運営が見込まれます。

<第7表> 経常収支比率一覧



※ 経常収支比率とは・・・

毎年度継続して収入される市税などの経常的収入が、毎年度決まって支出される人件費、扶助費のような経常的支出にどれだけ充当されたかを示す指標。

数値が低いほど財政に余裕があることを示す点でエンゲル係数(家計の消費支出に対する食料費の割合)に似ている。

～全力で取り組みます。～

このような状況の中、「柏原市行財政健全化戦略」を基本に、財政の健全化を図りながら、将来に向かって夢のあるまちづくりを行っていくために、事務・事業の見直しや効率化、経費の削減、歳入の確保などに、より一層取り組んでいきます。

## 令和4年度上半期予算執行状況

令和4年度上半期(4月から9月まで)の各会計における収入・支払の状況は下の第8表のとおりです。

<第8表> 令和4年度上半期各会計執行状況(企業会計除く。)

(単位:千円)

会計名	予算額 (A)	収入 (B)	収入割合 (B)÷(A)	支出 (C)	支出割合 (C)÷(A) %	収支差引額 (B)-(C)	
一般会計	29,788,622	14,616,312	49.1	11,752,154	39.5	2,864,158	
特別会計	国民健康保険 (事業勘定)	8,023,367	3,207,651	40.0	3,271,473	40.8	△ 63,822
	国民健康保険 (施設勘定 堅上診療所)	11,500	1,346	11.7	3,178	27.6	△ 1,832
	介護保険	6,780,206	3,261,619	48.1	2,722,644	40.2	538,975
	後期高齢者医療	1,170,026	427,890	36.6	367,810	31.4	60,080

令和4年9月30日現在人口 67,314 人

また、一般会計における市債の令和4年9月30日時点での現在高は次の第9表のとおりです。

<第9表> 市債の現在高

(単位:千円)

会計名	9月30日時点の 市債現在高	市民1人当たりの 市債現在高(円)
一般会計	22,400,748	332,780